

17の国・地域の仲間と 未来の観光をつくる

自由を共に楽しみ、社会を共に生きぬく

「楽しむ力」を育む大学
大阪観光大学
Osaka University of Tourism

〒590-0493 大阪府泉南郡熊取町大久保南 5-3-1
TEL 072-453-8222 URL <https://www.tourism.ac.jp/>



国連世界観光機関の
観光教育国際認証
「Ted Qual」の認証
を更新！

広告欄

国際的環境で観光と対峙

大阪観光大学

大阪観光大学(大阪府熊取町、山田良治学長)は、日本で唯一「観光」を大学名に冠する4年制大学だ。その観光学研究や教育プログラムの質は高く、国連世界観光機関(UNWTO)の観光教育国際認証も継続的に取得。近年では第一線の実務家によるDMO(観光実務家)のためのリカレント講座の主催でも知られる存在だ。

同校が憲章として掲げるのは「自由を共に楽しみ、社会を共に生き抜く力」。「観光を扱うわれわれこそ、多様な価値観に共感し、新たな視点や感性を生かして問題意識を持つ力が必要だ」と山田学長は指摘する。学校

教育の中で自分に自信をいと思えることを広げる持てずには育ってきた学生体験、一緒に楽しむ経験も多いが、同大学ならではの学びと環境により伸びやかに成長し、その多副センター長の小槻文洋が自らの進む進路をつかみ取っているという。「実践教育科目」の「文

「共に楽しむ感覚や文化鑑賞創造実践」だ。教員の「好き」であるダンスや城郭めぐりなどのテーマについて一緒に鑑賞、実践して「好きを楽しむ」経験を重ねる。同大学で野球部や鐵道研究会などの活動が盛んなのも、「好き」を突き詰める、共に楽しむことの大切さを学生が理解している証左だろう。

もう一点同大学の特長で、日本人だけではなくその国際性が出てくるのも、本学ならではの「観光学研究センター」社会連携室産官学連携セクション長を務める細川比呂志教授は力を込める。

留学生教育の質の高さにも定評がある。日本語を学ぶ必修科目が多く、日本語能力試験のN2レベルに合格しなければ4年生の卒論ゼミに進めない。地域連携実践では連携先へのプレゼンテーションを含め全て日本語で行われる。同大学では年に2回、観光関係事業者を中心に30社超が参加する「就職EXPO」も実施するほか、1年生からキャリアを考えられるカリキュラムやイベントを多数実施。毎年国内内外の主要旅館ホテルや航空・鉄道会社などへ数多く卒業生を送り出していることか、今後ますます注目が集まりそうだ。

労働・余暇論の見地から「楽しむ力」の必要性を説く山田学長の新著



その意見交換等っている。一部の留学生を通して課題解決などに取り組む。「グループワークで、留学生から『私の国山本健慈理事長は「主要大学で留学生の受け入れ人数が増えた今年も、当学の留学生数は減少しなかった。教育の質、面倒見の良さなどが、留学希望者の中で認知されている」と胸を張る。



就職EXPOで真剣に聴き入る学生たち